

令和6年度 9月 祭り実行委員会議事録

日 時	令和6年9月28日（土）18：00～19：45	場 所	第1自治会館
参加者	吉田、松山、井澤、鷹尾、大畑、苅谷、嘉茂、吉野、（南端：欠席） 書記）村山		

議 題

1. 祭り実行委員会関連について（説明：村山）

次の資料を配布し（最終）実行委員会の進行内容及び今後の対応について補足説明した。

①祭り実行委員会（最終）議題

②9月実行委員会議事録9.19実施版

③祭実行委員、自治会班長及び協力者名簿一覧（9/22版）

※担当業務毎の関係者全員名簿を「業務別従事者の全員名簿」に修正（名前重複を含む）

2. 祭り全体運営の反省と教訓について（報告・協議：各理事）

(1) 祭り実施可否の全体判断について

ア 9/19（2日前）祭り実施可否の決心を設定し履行していたが、更に天候の変化に柔軟に対応できるよう、日時設定として前日、当日早朝での判断、決心する段階的な場の設定が必要であった。

イ 天候の判断、判定の拠り所となる、風速、雨量、気温他の基準を設定し、天候により実施できる、できない及び雨天時でのイベント量、時間配分の対応策を周知できるように決めておく必要があった。

ウ 袖高及び根形中の生徒、父兄、教師の方々に対しては遠方から日曜通学してきていることを主催者側としてもよく肝に銘じて置く必要があり、祭りの前日、当日でも連携をとり不安材料がある場合は安易に（演奏実施の）判断をしないなどの調整すべき配慮が足らなかった。

(2) 行事運営での進行について

雨天での演奏イベントの一部中止、子供神輿到着時間及び競技ゲーム時間枠への対応（タイムキープ）で進行判断が後手となり、出演者、来場者に迷惑をかけてしまった。

天候に応じたプログラムの変更パターン案と行事進行、会場案内への対応策の詳細を事前に案出しておく必要があった。

(3) 実行委員会本部要員の配置について

本部席が雨天対応等で不在が多くなり本来の行事全般統制、運営、進行管理及び問合せ対応、各班連携がうまく機能していなかった。

委員会組織体制図を当初から明示し、重要な本部機能と認識していたが当日の運用で実践できなかったため、今後は、本部要員の配置、任務付与、勤務時間等の指

定ができるよう業務別班長との兼務を最小限とする等の配慮が必要であった。

3. 祭り全体運営の反省と教訓について（報告：担当者分）

(1) 第1自治会及び出店者・出演者向けの対応（説明：鷹尾）

ア 自治会役員、班長及び出店者、出演者から祭り直後から9/27までに収集した意見の投稿、連絡を受けた方のコメントを提示し、内容を説明した。

イ 業務担当した9/28までの次の資料を提示し内容を説明した。

①収支予想管理シート

②御礼対象者一覧表（個人・グループ）

③100円優待券の使用実績記録

④コストコ向け御礼文書案

(2) 第2自治会の対応（説明：苅谷）

第2自治会班長向けの祭りアンケート用紙を提示し、9/28、29班長宅へ投函し、10/5(土)に回収予定との説明した。

(3) 警備環境班の運営分（説明：村山）

班長取りまとめ分及び警備班員向けの御礼文書案を提示し、意見収集と今後の対応について説明した。

(4) 模擬店班（焼きそば）の運営分（説明：大畑）

班長取りまとめ分での反省点、意見を提示し説明した。

(5) 業務担当の運営別及び各自治会の意見、要望等の取りまとめ対応

上記（1）～（4）で前述した意見等は、現時点での一部担当者からの紹介、説明であるため今後、他の業務及び第2自治会アンケート結果も踏まえ再度、意見、感想を熟読した上で、次回理事会にて改善策を協議するなど、実のある反省と教訓とする旨、各理事で了承した。

4. 祭り全体の理事共有事項及び出来事確認

(1) 祭り協力者の全員名簿一覧を完成させ 祭り資料として記録保管する。

(2) 本日提示された業務別の各班及び出店者・出演者、役員・班長、協力者からの祭りの意見と第2自治会のアンケート回収結果での祭り意見、問題点を確認、協議し、今年度の反省と教訓として次年度祭り開催の対応策に繋げることとする。

(3) 来場者・参加者の安全事例及び物損等の把握

①会場内でのミニあげ風が落下した際、子供の身体に接触

②神輿参加者の子供の擦り傷

③酒酔い転倒者に対する救護班対応

④設営テント破損、人力、補強による飛散対応

⑤会場内枯れ枝落下物、飛散

(4) 子供神輿巡行時の安全確保に関する教訓

上記（3）②について、当初、怪我も擦り傷であり大事にはなっていないこと、その後も意見が出ていないことから、子供、親御さんの特定までは困難ではないかと

の意見があったが、特定が出来た際には様子伺いの訪問をすべきであるとの意見があり、主催者側として様子伺いの訪問を検討する事とした。

本事例の原因として、台車に乗せた花神輿は下り坂でのスピード抑制、台車の方向操作に配慮すべきであったとの意見があり、これを踏まえて今後は、坂道の多い団地内での練り歩きには様々な面から配慮、対策を講じておく必要があり、特に神輿回りの子供達の密集度合い、足運びを把握確認できる安全要員を重厚にする必要がある事を再認識した。（後日、子供、親御様判明）

(5) 祭り終了直後の挨拶お詫び訪問（天候不良対応及び破損等）

協賛者他、祭り協力者への終了挨拶訪問（お詫び含む）は9/30（月）現在、8割ほど終了しており、不在者への訪問は継続する。（吉田、村山）

(6) 借用した資材の返却状況

ア 借用品は全て返却を終了した。（テント、テーブル、椅子、よしず、綱引きロープ、焼きそば資材、テント重石）

イ 破損した根中テントは、市の所有物のため、根中・市担当を交えて損害保険の対応を進める。

ウ 太鼓の革破れについては、張り替えと新品購入の経費見込みが第2自治会から提示されており、保険求償可否と補償額を確認し今後も検討を継続する。

(7) 会計収支の状況

ア 現時点での収支予想報告の説明(鷹尾)

御礼関連の想定額、根中テントの保険求償不足分及び根中・袖高吹奏楽部の楽器の弁済155,000円相当を見込むと、収支は数百円程度が赤字となる。

イ 御礼対象者、相当金額を別途、村山、苅谷、鷹尾、大畑で精査して取りまとめて収支に反映する。

ウ 祭り運営の業務上、御礼対象となっていない自治会役員・班長対象に各自治会で慰労の場が持てるよう、昨年同様に連合祭予算枠の中から各自治会に20,000円を助成する事について各理事で了承した。

エ 連合理事会（実行委員会）での慰労の場は昨年は実施したが今年度は設けずに予算化をしないことを各理事で了承した。

5. 今後の連合会の対応、予定

(1) 今後の理事会の課題対応

今後、下半期の連合運営として、昨年からの課題の解決、会則改正等の大会準備を重要業務として推進することを了承した。

(2) 市からのプラスチックリサイクル協力地区募集依頼受け対応

各自治会単位での募集案内資料の提示（吉田会長）があり、協力する場合の検討、対応についての回答は各自治会で行うこととし了承した。

(3) 年度下期の理事会開催場所

女性理事（第1所属）の夜間対応と自宅近傍を配慮し、今後は第1自治会館で実

施することを了承した。

(4) 10/26 (土) 18:00~20:00 連合理事会 (第1自治会館)